



畜産

管理監督者 
担当課長 ~
 25年目以降
 (40代後半~)

グループリーダー 
主任主査級
 (上席農業普及員 等)
 20~25年目程度
 (40代中盤~)

サブリーダー 
主査級
 (主査農業普及員 等)
 15~20年目程度
 (30代後半~)

中堅 
主任級
 (主任農業普及員 等)
 10~15年目程度
 (30代中盤~)

若手 
技師級
 2~10年目程度
 (20~30代前半)

新人 
新採用
 1年目

主な職名：農業普及員、専門研究員、講師 等

主な配置先：農林水産部畜産課、広域振興局農政部・農林部（各振興センター）、農業改良普及センター、畜産研究所、農業大学校 等

県職員としての土台づくり。
 知識経験をしっかり吸収。

様々な分野を経験。実務
 の中核として活躍。

視野を広げながら担当業務
 を推進。後輩もフォロー。

幅広い視野で業務を推進。
 チームの要として活躍。

チームを引っ張り、県
 の政策・施策を立案。


豊富な知識・経験で
 組織をマネジメント。

- ・畜産関係法令の基礎知識
- ・家畜の飼料・飼養管理等技術の基礎知識
- ・許認可、補助事業、技術指導、試験研究業務等の基本的な遂行力
- ・関係機関、生産者等とのコミュニケーション力
- ・会議、説明会等資料の作成・プレゼン力

- ・畜産関係法令の専門知識
- ・家畜の飼料・飼養管理等技術の専門知識
- ・畜産関係法令、畜産技術に関する関係者への指導力
- ・許認可、補助事業、技術指導、試験研究業務等の能動的な遂行力
- ・畜産関係施策の立案・遂行力
- ・関係機関、生産者等との折衝・交渉力
- ・家畜伝染病など緊急案件への基本的な対応力
- ・技師級職員への指導・助言力

- ・担当ライン業務の進行管理・調整力
- ・家畜伝染病など緊急案件への能動的な対応力
- ・主任・主査級職員への指導・助言力

- ・管理監督職として所属職員や事務事業をマネジメントする能力
- ・これまでに培ってきた専門分野の知識・経験等を踏まえた高度な能力（説明・交渉・調整力、判断力、指導力、分析力）の発揮
- ・人材育成能力

 **若手職員の配置**
 必要な技術・知識の習得と適性把握のため、複数の職場（行政、研究、普及）を経験できるよう配置。本人の意向や業務遂行能力、適性等を考慮し、配置を決定。

普及 及 研 究	農林水産部会計事務担当職員研修			
	農林水産部新採用職員研修、農家派遣研修			
研 究	【外部】中央畜産技術研修（新任畜産技術職員、畜産行政、放牧、食肉流通、国産飼料、家畜環境保全、養豚、酪農、肉用牛、畜産新技術、畜産統計処理、畜産物安全行政 等）			
	【外部】派遣研修（農林水産省等）			
普 及	畜産研究所所内セミナー（各種学会・研究会発表に向けたプレゼン手法の研修）			
	新任者研修	普及員養成研修		
		普及活動基本研修、スペシャリスト養成研修		
		専門技術基本研修	普及指導手法高度化研修	
			チームマネジメント研修	
	業務別研修（農業経営指導能力向上、経営改善支援能力向上、GAP、スマート農業、土づくり 等）			
	【外部】業務別研修（スマート農業、みどりの食料システム戦略、鳥獣被害防止、新規就農 等）			
				OJT担当課長研修

 **育成方針**：職場を離れて受講する研修（Off-JT）に加え、日常の仕事を通じた上司・先輩からの指導（OJT）や自主的な学習・研鑽（自己啓発）を組み合わせる育成

注1：各職位の目安（○年目）は大卒程度を想定したものです。 注2：研修のうち太い枠線のあるもの（着色されているもの）は必修研修であることを表しています。